



4年1組
石川雄大君

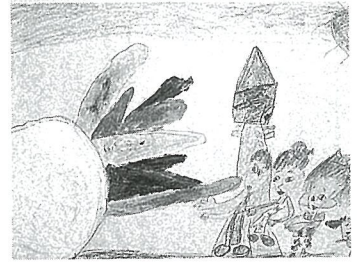


『これが1番大きいな』

※春に植えたへ
チマが大きく
育ち、りっぱ
な実がついて
うれしかったです。



1年2組
野中智子さん



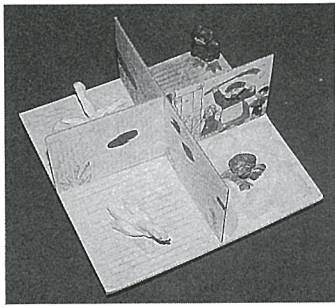
『大きなかぶ』

※かぶをかきま
した。えのく
とクレヨンを
つかいました。
たのしかったです。

あつまれみんなの力作



5年2組
椎名友美さん



『みにくいあひるの子』

※あひるの子の
目がむずかし
かったけれど
うまくできた
のでよかったです。



『へんしん帽子』

2年2組 宮嶋彩子さん

※色紙やさくら紙、シール等
を使って、かわいいへんし
ん帽子を作りました。



6年2組
宮本裕佳さん

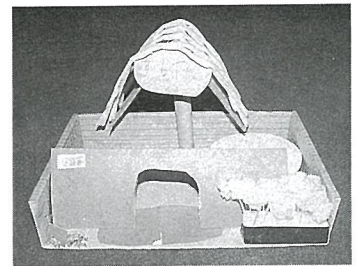
平和の光

宮本 裕佳

※たい所と細い
所に気をつけ
て書きました。



3年1組
椎名兼吾君



『すし屋』

※とろや玉子や
うになどのす
しや、おまけ
のわたあめを
くふうしまし
た。



ひかり俳壇



布施 和代 (二又)

夫に先立たれた作者、齋粥に特別な想いがあるのだろう。追憶を詩情豊に詠み切った。

布施喜美雄 (二又)

雑煮餅卒寿の母を氣遣えり
九十歳という高齢の母上に心を配りながら雑煮を祝う。上五の季語は雑煮餅が適切。

大木 素風 (二又)

注連飾る定年もなき古希の農
中七が共感を呼んだ高名句。ただ「定年もなき」というフレーズは諸刃の剣でもある。

秋山 一泉 (栢田)

産土に久の和服や初詣
大谷 武彦 (木戸)

ままごとも年始の挨拶交しけり
川島 通則 (二又)

濡縁に猫も糞うお元日
土屋 義昭 (虫生)

微動だもなき杉幹や初御空
鴨川 篤 (尾垂)

除夜の鐘汽笛も和して港町
短評 椎名しげる

評者吟
二日の雷未明の闇を切り裂ける